ジオっちょ

銚子ジオパーク市民の会ニュース

屏風ケ浦遠望

第 85 号
2018年 7 月 26 日
発行責任者：工藤 忠男
編集責任者：藤身 隆雄
TEL 0479-24-2225
http://choshi-geopark.com/

平成 30 年度銚子ジオパーク講座終了

銚子ジオパーク推進事務局　　山内祥行

今年度のジオパーク講座は、全８日１７講義が行われ、延べ４１８人が受講しました。最終日の修了テストには１３人が受験し、全員合格しました。

アンケートの結果、最も人気が高かった講座は、「銚子の大地の成り立ち２」（高橋直樹先生）、次点で「地球の歴史と日本列島の成り立ち」（植木岳雪先生）、「銚子の大地の成り立ち１」（岡崎浩子先生）、「銚子の魅力は“海鳥”に語らせろ！」（平田和彦先生）でした。最後に、アンケートに寄せられたコメントをいくつか紹介します。

・銚子に住んでいて、銚子に興味をもったのは初めてかもしれません。
・銚子がすばらしい土地だなと改めて感じました。
・土地が生きているように感じました。

受講されたみなさま、ありがとうございました。

ジオ講座は来年度も開講予定です。よろしくお願いします。

銚子ジオ講座を受講して

並木　正裕

よく他県の方々から「銚子って遠いですよね」とか、地元の方々から「銚子って何もないようね」などよく言われます。私もそういうふうに感じておりました。それはただ銚子のことをよく知らなかったからかもしれません。何かのきっかけでにもジオパークがあることを知りました。

今回、ジオパーク講座を受講してみて、多くの市民の方が受講されており、皆さん熱心だなと思いました。また、講師の先生方のお話もたいへん勉強になりました。

銚子には恐竜時代からの地層があること、そして、縄文時代の遺跡、江戸時代から続く醤油産業などいろいろと見どころがあります。これらのものが私達にとってとても重要であることに気づきました。また、これからもいろいろと学んでいこうと思います。

ジオパーク講座での発見

仲　幸雄

ジオパーク講座を聴講すること今回で三度目になる。理解がだんだん深まった気もするが、まだわからないようなところもたくさんある。乾いた砂に水が染み透るように、聞いたことがスーッと頭に入っていくといいが、少しばかり錆びつきつつある頭にはなかなか難しい。

しかしながら、講座の多岐にわたる内容は十分って川口あたりにた刺激的で、眠っている脳細胞を揺り動かしてくれた。知らないこと辺で群れているカモ

オオセグロカモメ

がわかる、知っていることがより深まっていく。この繰り返しで、頭の抽き出しの中身が増えたと感じている。

これからはその場、その場で確認していければいいと思う。

それはさておき、銚子のいろいろな歴史や文化、産業、地質、動植物等の話を聞いたなかで、一番興味をひいたのはカモメの話であった。銚子には8種類以上のカモメが生息しているとのことである。それぞれの種類の特徴と見分け方を教えていただいたので、双眼鏡をもむろしているカモメを同定してみたい。

以前より、漁港周

メを見て名前を知りたいものだと思っていたので、参考になるありがたい講義であった。

銚子は世界中に分布しているカモメを観ることのできる貴重な場所であるというのも、今回初めて知ったことであった。カモメは、自分の住んでいる身近な場所に実に多くの種類が生活しているのだから、何度も観察してすらっと名前が言えるようになりたいものだ。

これを機に、銚子のカモメとのかかわりを深めていきたいと思う。